

第4学年 体育科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
4月	かけっこ・リレー 6	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・8秒間走やリレーの仕方について考え、競走の規則やリレーの仕方を話し合っ決めて、選んだりしている。 ・かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
4月・10月	リズムダンス 11	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。

第4学年 体育科 評価規準

		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きと一緒に踊るなどして伝えている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。
5月・6月	ネット型ゲーム 7	主体的に学びに取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に進んで取り組む。 ・規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり勝敗を受け入れたりする。 ・友達の動きのよさを見付けたり考えを認めたりする。 ・場や用具の安全に気を付ける。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりする。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝える。
		知識・技能	ネット型ゲームでは、ボールを操作できる位置に体を移動したり片手や両手で返球したりすることができる。
9月	鉄棒運動 5	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 <p>○前回り下り（発展技：前方支持回転）</p> <p>○かかえ込み前回り（発展技：前方支持回転）</p> <p>○転向前下り（発展技：片足踏み越し下り）</p> <p>○膝掛け振り上がり（発展技：膝掛け上がり）</p> <p>○前方片膝掛け回転</p> <p>○補助逆上がり（発展技：逆上がり）</p> <p>○かかえ込み後ろ回り（発展技：後方支持回転）</p> <p>○後方片膝掛け回転</p> <p>○両膝掛け倒立下り</p>

第4学年 体育科 評価規準

		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
1 2 月	マット運動 8	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ○前転（発展技：開脚前転） ○易しい場での開脚前転 ○開脚後転（発展技：伸膝後転） ○補助倒立ブリッジ（発展技：倒立ブリッジ） ○側方倒立回転（発展技：ロンダート） ○首はね起き（発展技：頭はね起き） ○頭倒立
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたこと

第4学年 体育科 評価規準

			<p>などを伝え合う際に、友達の考えを認めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
<p>6月・7月</p>	<p>水泳運動 10</p>	<p>知識及び技能</p>	<p>【浮いて進む運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して、伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 ・補助具を用いて浮き、呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け、手や足をゆっくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない簡単なクロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ、簡単なクロールや平泳ぎなど、頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。 <p>【もぐる・浮く運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もぐる・浮く運動の行い方がわかる。 ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ、股くぐり、変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。 ・補助具を使って浮力を生かしたいろいろな浮き方をすることができる。 ・大きく息を吸い込み全身の力を抜いて背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。 ・だるま浮きやボビングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。
		<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・補助具を活用したり、友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや、課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。 ・自分で試したいいろいろなもぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。
		<p>主体的に学ぶ態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳運動に進んで取り組んでいる。 ・け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。

第4学年 体育科 評価規準

			<ul style="list-style-type: none"> 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 準備運動や整理運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る、プールに飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。
1 2 月 ・ 1 月 ・ 3 月	多様な動きをつくる運動 11	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア) 体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ) 体を移動する運動 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動きで構成される運動や、一定の速さでのかけ足などの運動を通して、体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ) 用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗る、跳び越すなどの動きで構成される運動を通して、巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ) 力試しの運動 人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 (オ) 基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する、用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり、連続して行ったりする運動を通して、基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。

第4学年 体育科 評価規準

			<ul style="list-style-type: none"> ・活動の場の危険物を取り除いたり，用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
2月	跳び箱運動 8	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系（開脚跳びなど）や回転系（台上前転など）の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で，それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び（発展技：かかえ込み跳び） ○台上前転（発展技：伸膝台上前転） ○首はね跳び（発展技：頭はね跳び）
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード，掲示物などを用いて，自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って，自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために，自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど，課題解決のために考えたことを友達に伝えている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・跳び箱，踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方，技を観察するときなどのきまりを守り，誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして，技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に，友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり，器械・器具の安全を確かめたりするとともに，試技の開始前の安全を確かめている。
9月・10月	小型ハードル走 7	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム（3歩のリズム）で走り越すことができる。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・3歩のリズムで調子よく走り越せるコースを作り，自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり，自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり，教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え，競走の規則を話し合ったり決めたり，選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを，学習カードに記入したり，振り返りの時間に発表したり，感想文を書いたりしている。

第4学年 体育科 評価規準

		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり，動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に，友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに，用具の安全を確かめている。
1 1 月	走り幅跳び 5	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り，遠くへ跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて，両足で着地することができる。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びのポイントがわかり，自分の課題を見付けている。 ・走り幅跳びのポイントについて見合ったり，教え合ったりし，遠くに跳ぶための練習方法の中から，自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え，競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合ったり，選んだりしている。 ・走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを，学習カードに記入したり，振り返りの時間に発表したり，感想文を書いたりしている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり，動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に，友達の考えを認めている。 ・走り幅跳びをする場所の危険物を取り除くとともに，用具の安全を確かめている。
1 2 月	走り高跳び 2	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びの行い方がわかる。 ・3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏み切り足を決めて上方に強く踏み切り，高く跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて，足から着地することができる。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びのポイントがわかり，自分の課題を見付けている。 ・走り高跳びのポイントについて見合ったり，教え合ったりし，高く跳ぶための練習方法の中から，自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え，競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合ったり，選んだりし

第4学年 体育科 評価規準

			<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り高跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
1 2 ～ 1 月	体ほぐしの運動 4	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
1 0 月 ・ 1 1 月	ベースボール型(ティーボール) 7	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーボールの行い方がわかる。 ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げるができる。 ・向かってくるボールの正面に移動することができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。

第4学年 体育科 評価規準

		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが楽しくテニスボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合ったり決めてたり、選んだりしている。 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> テニスボールに進んで取り組んでいる。 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 勝敗を受け入れている。 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確認している。
6月	体の発育・発達 4	知識・技能	<p>①体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には個人差があり、それらを肯定的に受け止めることが大切であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②体は、思春期になると大人の体に近づき、体つきに変化が見られるほかに、発毛や変声などの変化が現れ始め、これらの変化の現れ方や変化が始まる時期については個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、また、異性への関心も芽生えること。これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④体をよりよく成長させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>
		思考・判断・表現	<p>①体の発育の仕方について6人の身長伸び方を比べて気づいたことをワークシートに書いて友達に伝えたり、思春期の男女の体つきの違いを見つけて、体に現れる変化について調べたりしたことを自己の体の発育と関連付けて考えている。</p> <p>②思春期の体の働きの変化について学習したことを、自己や他者の体の発育・発達と結び付けて考えたり、体をよりよく成長させるための課題を見つけ、その解決方法について考えたことを友達に伝えたりしている。</p>
		主体的に学習に取り組む態度	<p>①体の成長について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習、教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。</p>

第4学年 体育科 評価規準

2月 ・ 3月	ゴール型(ポートボール) 5	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、ドリブルやパスができる。 ・コートの中を空いているところに素早く動くことができる。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに協力して用具の準備を行い、安全に練習やゲームをしようとしている。 ・仲間と協力し合い、ゲームの楽しさや喜びを味わいながら、進んで取り組もうとしている。 ・ルールやマナーを守り、勝敗を素直に認めようとしている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を意識し、目的をもって練習をしている。 ・チームの特徴を知り、よさを生かした作戦を立てている。 ・作戦を意識してゲームをしようとしている。
2月 ～ 3月	ゴール型(タグラグビー) 5	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーの行い方がわかる。 ・味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、ゴールにボールをトライすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくタグラグビーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・タグを取ったり、トライするために、簡単な作戦を話し合っ決めて、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを、動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。
		主体的に学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。